

佐々木一隆先生のご退職にあたって

佐々木一隆先生は、ご定年により、2023年3月をもって退職されることになりました。

佐々木先生は、1987年に宇都宮大学教養部に着任されました。今日まで宇都宮大学に奉職され、国際学部が設置された1994年10月以降、およそ29年間にわたって国際学部における教育研究、組織運営、社会貢献活動に多大なる貢献をされました。

その間、学内での重要な役職を多く経験されていますが、2013年度から2014年度には、学長特別補佐として当時の進村武男学長のグローバル化対応を支えられました。また、2017年度から2020年度の2期4年間は、学部長として国際学部のかじ取りにあたられました。この時期は、学部設置以来の2学科体制（国際社会学科と国際文化学科）から国際学科1学科体制への改組を完成させる4年間にあたりました。「21世紀型グローバル人材の育成」という目標を達成するための新しいカリキュラムを、年次進行で着実に実施する必要があり、4年間は毎年がそれぞれに新しい状況に対応しなければならない日々であったと思います。とくに、学部長任期の最後の年度はコロナ禍とも重なり、これまでに誰も経験したことの無い、困難な状況への対応が求められることになりました。そのような難しい状況の中、学部教員の提言を踏まえて、オンラインを活用した授業や組織運営をいち早く導入されるなど、的確な対応のおかげで、国際学部の教育と運営はほとんど滞ることなく、むしろ、オンラインによる海外協定校などとの交流授業の実施など、新たな教育の可能性を考える機会になりました。

ご専門は英語学・言語学で、英語関係科目のほか、専門科目では学部基礎科目である「言語学」、「言語比較論」を、また地域創生科学研究科では「言語普遍性と英文法研究ⅠⅡ」を担当されました。佐々木先生の教育への情熱は特筆すべきものと言えると思います。学部、大学院を問わず、内外の多くの学生の指導にあたられました。大学院においては、国際学研究科時代から今日まで、指導される学生が途切れたことは、学部長を務められた期間を含めて一度もありませんでした。個人的にも記憶に残っているエピソードの一つは、2007年4月に設置された国際学研究科博士後期課程1期生の指導にあたられた時のことです。その学生は中国からの留学生でしたが、勉強熱心で、副指導教員であった私のゼミ室のパソコンで自習していることがよくありました。彼女は、思うように論文がまとまらず苦勞をしていましたが、ときどき話をすると、佐々木先生が親身に学生に寄り添い、励ましながら論文完成に向けて支援されたことがよくわかりました。彼女は、博士号を取得して帰国した後、私にまで毎年絶えることなく春節のあいさつをし続けてくれており、博士課程時代の佐々木先生のご指導への感謝を繰り返し伝えてくれています。

研究に関しては、佐々木先生は生成文法を専門とされ、言語の普遍的特性から見た英文法研究、日英語比較を中心とした言語比較、言語研究の成果を言語学習や翻訳に応用する研究を継続して進められました。その成果の一部は、論文として、国際学部研究論集に発表されています。論文の発表は学部長時代も毎年絶えることなく続けられました。自分自身を振り返りますと、多忙な職務を言い訳にされることなく研究を継続されてきたことは、驚嘆に値すると思います。佐々木先生の教育研究の取り組みに共通するのは、誠実さ、熱意、継続性だと思います。社会が大きく変化し、大学を取り巻く環境も常に変動し、将来が見通しにくくなっている状況において、これらのキーワードを佐々木先生からの教訓として、これからの教育研究を考えていきたいと思います。

佐々木先生の長年にわたるご貢献に改めてお礼を申し上げますとともに、ご健康とますますのご活躍を祈りつつ、ご退職にあたっての挨拶といたします。

国際学部長 中村 真

佐々木一隆先生の略歴と主要な業績



学歴

- 昭和32年9月 東京に生まれる。
昭和51年3月 明治大学附属中野高等学校卒業
昭和56年3月 東京学芸大学教育学部中等教育教員養成課程 英語科専攻卒業
昭和58年3月 東京学芸大学大学院教育学研究科英語教育専攻（英語学講座）
修了
昭和58年3月 教育学修士（東京学芸大学）

主な職歴

- 昭和58年4月 東京都立航空工業高等専門学校専任講師
昭和62年4月 宇都宮大学講師教養部
平成3年11月 宇都宮大学助教授教養部
平成6年10月 宇都宮大学助教授国際学部
平成10年8月 宇都宮大学大学院国際学研究科修士課程助教授
平成12年8月 UCLA 言語学科客員研究員（平成13年6月まで）
平成16年4月 宇都宮大学教授国際学部教授
平成18年8月 宇都宮大学大学院国際学研究科博士後期課程教授
平成28年8月 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科修士課程教授
平成29年1月 宇都宮大学学術院（国際学部）教授（現在に至る）

著書

1. *New ACCESS to English Grammar*（共著）1996年9月 開拓社，240 pp.
2. 『日本語学キーワード事典』（小池清治他編集）（共著）1997年7月 朝倉書店，544 pp.
3. 『大学生のための現代英文法』（共著）1999年11月 開拓社，216 pp.
4. 『日本語表現・文型事典』（対訳英文校閲担当）（共著）2002年10月 朝倉書店，520 pp.
5. 『移動・都市・翻訳』国際学叢書（共著）2004年10月 宇都宮大学国際学部，232 pp.
「英語の文的名詞句を日本語に翻訳する：文法の視点から」（3番目に掲載，pp. 53-71）
6. 『世界を見るための38講』（共著）2014年11月 下野新聞社
「ことばの不思議を追究して」（pp. 104-108）
7. 『多文化共生をどう捉えるか』（共著）2018年11月 下野新聞社
「多文化共生における言語の重要性」（pp. 31-35）

学術論文

1. 「英語助動詞体系に関する一考察」単著1982年3月 東京学芸大学大学院英語研究会，*LEO* 11, pp. 39-57.
2. 「間接目的語の移動制約について」単著1983年3月 東京学芸大学大学院英語研究会，*LEO* 12, pp. 1-11.
3. “An Analysis of the Passive Construction in English: In Terms of the Notion ‘Basic’ to ‘Derivative’.” 単著（英文）
1984年7月 東京都立航空工業高等専門学校『研究紀要』第21号，pp. 123-142.
4. 「英語の能動受動構文について：動的文法理論の観点から」単著1986年5月東京都立航空工業高等専門学校
『研究紀要』第23号，pp. 73-84.
5. 「同格の名詞句について」単著1987年12月 宇都宮大学外国文学研究会『外国文学』第36号，pp. 43-58.
6. 「擬似分裂文的構文に関する覚え書き」単著1989年2月 宇都宮大学外国文学研究会『外国文学』第37号，

- pp. 85-96.
7. 「先行文を受ける同格名詞句について」単著 1990年2月 宇都宮大学外国文学研究会『外国文学』第38号, pp. 29-47.
 8. 「先行文と同格名詞句の意味関係について」単著 1991年7月『現代英語学の諸相』(宇賀治正朋博士還暦記念論文集), 開拓社, pp. 416-424.
 9. 「先行文を受ける同格名詞句に関する理論的問題について」単著 1992年12月 『宇都宮大学教養部研究報告』第25号, pp. 187-201.
 10. 「英語における文的名詞句の分布とその理論的意味」単著 1993年8月 宇都宮大学外国文学研究会『外国文学』第42号, pp. 75-90.
 11. 「多義性の解消と英語の分離不定詞」単著 1994年9月 『宇都宮大学教養部研究報告』第28号, pp. 83-102.
 12. 「英語の派生名詞化形の内部構造と分布に関する覚え書き: 歴史的な視点も取り入れて」単著 1995年2月 宇都宮大学外国文学研究会『外国文学』第44号, pp. 11-22.
 13. 「コミュニケーションのための英文法構築に向けて: Quirk et al. (1985) 第18章を起点に」単著 1996年3月『宇都宮大学国際学部研究論集』創刊号, pp. 39-55.
 14. 「英語の派生名詞化形のデータ分析について: 出現頻度と発生・内部構造の発達・分布の拡張の観点から」単著 1997年3月 宇都宮大学外国文学研究会『外国文学』第46号, pp. 43-54.
 15. “Derived Nominals and Grammatical Dynamism: A Comparative Syntax of English and Japanese.” 単著 (英文) 1997年7月 *Studies in English Linguistics: A Festschrift for Akira Ota on the Occasion of His Eightieth Birthday*. The Taishukan Publishing Company, pp. 558-564.
 16. 「アメリカにおける言語学の研究と教育: ワシントン大学, イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校」単著 1997年10月 『宇都宮大学国際学部研究論集』第4号, pp. 107-126.
 17. 「テキストの観点から見た英語の文章構成について: Quirk et al. (1985) 第19章に基づいて」単著 1998年3月『宇都宮大学国際学部研究論集』第5号, pp. 55-71.
 18. 「ドイツ語の冠飾句と英語の分詞句・形容詞句: 名詞句の内部構造比較」単著 1998年3月 宇都宮大学外国文学研究会『外国文学』第47号, pp. 45-57.
 19. 「英語の分詞構文と接続詞に関する一考察」(単著) 1998年6月 『宇都宮大学国際学部研究論集』第6号, pp. 93-99.
 20. 「派生名詞化形 *destruction* の分布に関する追加データ」単著 1999年3月 『宇都宮大学国際学部研究論集』第7号, pp. 121-130.
 21. 「宇都宮大学における外国語学習環境の整備」単著 1999年3月 宇都宮大学外国文学研究会『外国文学』第48号, pp. 21-28.
 22. “The Semantics of *Get*-Passives.” 単著(英文) 1999年10月『宇都宮大学国際学部研究論集』第8号, pp. 117-126.
 23. “A Dynamic View of the English Inversion Construction: A First Approximation.” 単著(英文) 2000年3月 『宇都宮大学国際学部研究論集』第9号, pp. 57-63.
 24. “How Have Possessors Come to Act as Subjects in Derived Nominals?” 単著(英文) 2000年3月 宇都宮大学外国文学研究会『外国文学』第49号, pp. 165-172.
 25. “A Note on Disambiguation and Language Development: Toward Proper Meaning-Form Association.” 単著(英文) 2001年3月 宇都宮大学外国文学研究会『外国文学』第50号, pp. 29-38.
 26. “Optimality-Theoretic Syntax: What Ideas Can We Learn from It?” 単著(英文) 2001年10月『宇都宮大学国際学部研究論集』第12号, pp. 81-88.
 27. 「言語理論・言語習得研究とその教育体制: UCLA 言語学科の事例から」単著 2002年3月『宇都宮大学国際学部研究論集』第13号, pp. 139-165.

28. 「日英語の名詞句の内部構造と分布」 単著 2002年10月 『宇都宮大学国際学部研究論集』 第14号, pp. 67-78.
29. 「英語の名詞修飾表現の多様性」 単著 2002年11月 大塚英語教育研究会 『大塚フォーラム』 No. 20, リーベル出版, pp. 51-56.
30. “Discourse and Premodification.” 単著 (英文) 2003年3月 『宇都宮大学国際学部研究論集』 第15号, pp. 113-116.
31. 「日英語の名詞句比較: 内部構造と分布の観点から」 単著 2003年3月 *IRICE PLAZA* No. 13, IRICE (国際コミュニケーション英語研究所) 英語教育学会, pp. 36-43.
32. “Prenominal Modifiers in English: An Outline of a Dynamic Analysis.” 2003年12月 Takao Yagi との共著 (英文) *Empirical and Theoretical Investigations into Language: A Festschrift for Masaru Kajita*. Kaitakusha Publishing Company, pp. 612-618.
33. “Prenominal Modifiers in English and Japanese.” 単著 (英文) 2004年3月 『宇都宮大学国際学部研究論集』 第17号, pp. 65-76.
34. 「外国人留学生受け入れに関する諸問題 (1) —日本語・日本文化研修留学生プログラム—」 梅木由美子と石浜昌宏との共著 2004年3月 宇都宮大学外国文学研究会 『外国文学』 第53号, pp. 1-13.
35. 「意味と形式に関する覚書: 日本語とベトナム語の時間表現」 単著 2005年3月 『宇都宮大学 国際学部研究論集』 第19号, pp. 107-111
36. “A Communicative Approach to the ‘S, NP’ Construction in English.” 単著 (英文) 2005年10月 『宇都宮大学国際学部研究論集』 第20号, pp. 37-42.
37. 「意味と形式の対応と日英語比較小論」 単著 2006年3月 『宇都宮大学国際学部研究論集』 第21号, pp. 55-59.
38. 「現代日本語の『乱れ』とこれからの日本語」 単著 2006年3月 宇都宮大学外国文学研究会 『外国文学』 55号, pp. 97-106.
39. 「テキストの冒頭に現れる主語名詞句の分析の方向性」 単著 2007年3月 『宇都宮大学国際学部研究論集』 第23号, pp. 67-71.
40. 「日本語研究とその日本語教育への応用」 単著 2007年3月 宇都宮大学外国文学研究会 『外国文学』 56号, pp. 85-92.
41. 「英語の統語論と形態論の平行性: ディスコースにおける照応と削除」 単著 2007年10月 『宇都宮大学国際学部研究論集』 第24号, pp. 83-91.
42. “A Story of *Nearby*: A Morphological, Syntactico-Semantic, Discourse-Based, and Developmental Perspective.” 単著 2008年3月 *Enterprise in the Cognitive Science of Language*. Hituzi Shobo.
43. 「英文法への意味論的アプローチ: Dixon (2005) の評価について」 単著 2008年3月 宇都宮大学外国文学研究会 『外国文学』 57号, pp. 61-75.
44. 「言語研究における7つの重要な視点」 単著 2008年10月 『宇都宮大学国際学部研究論集』 第26号, pp. 99-103.
45. “Why are English noun phrases more sentential than Japanese noun phrases?” 単著 (英文) 2009年3月 『宇都宮大学国際学部研究論集』 第27号, pp. 17-22.
46. 「英語転移修飾表現の動的分析に向けて」 単著 2009年3月 『外国文学』 58号, 宇都宮大学外国文学研究会, pp. 31-33.
47. 「英語名詞句の総合的研究に向けて: 日本語名詞句との比較を通して」 単著 2009年10月 『宇都宮大学国際学部研究論集』 第28号, pp. 35-41.
48. 「言語研究入門と比較対照研究: 互いに異なるアプローチの両立を求めて」 単著 2010年3月 『宇都宮大学国際学部研究論集』 第29号, pp. 1-11.

- 49.「小学校における英語活動と異文化理解」単著 2010年3月『多文化公共圏センター年報』第2号, 宇都宮大学国際学部, pp. 10-15. [研究ノート]
- 50.「英語名詞句の意味を決定する要因: 統語構造・意味タイプ・ディスコースの観点から」単著 2010年3月『宇都宮大学国際学部研究論集』第30号, pp. 33-40
- 51.「言語研究の科学的方法: 科学形成能力を誘発するためのインフォーマルな議論」単著 2011年3月『宇都宮大学国際学部研究論集』第31号, pp. 21-27.
- 52.「英語・日本語・中国語の関係節の比較に関する覚え書き」単著 2011年3月『外国文学』60号, 宇都宮大学外国文学研究会, pp.119-124.
- 53.「英語名詞句の総合的分析に向けた多面的・動的アプローチ」単著 2011年9月『宇都宮大学国際学部研究論集』第32号, pp. 17-25.
- 54.「言語の構造的性質: 音声と意味の対応から人間言語への一般的特徴へ」単著 2012年3月『外国文学』61号, 宇都宮大学外国文学研究会, pp. 15-22.
- 55.「『夜逃げ』『二人のならず者』『笑いがこみ上げる』: 日本語分析への多面的・動的アプローチ」単著 2012年9月『宇都宮大学国際学部研究論集』第34号, pp. 73-81.
- 56.「構造と機能の相互作用から見た日英語比較」単著 2012年3月『大塚フォーラム』30号, 大塚英語教育研究会, リーベル出版, pp. 32-39.
- 57.「Chomsky (1965) *Aspects of the Theory of Syntax* に関する評価」単著 2013年3月『外国文学』62号, pp. 55-65.
- 58.「英語における名詞前位修飾表現の諸相」単著 2013年9月『宇都宮大学国際学部研究論集』第36号, pp. 43-48.
- 59.「名詞の前位修飾について」単著 2013年10月『英語語法文法学第21回大会予稿集』
- 60.「英語の要約型名詞句に関する一考察」単著 2013年12月『大塚フォーラム』31号, リーベル出版, 大塚英語教育研究会, pp. 41-46.
- 61.「英語圏文化と English」単著 2014年3月『外国文学』63号, pp. 17-26.
- 62.「名詞の前位修飾について」単著 2014年12月『英語語法文法研究』第21号, 英語語法文法学会, 開拓社, pp. 47-72.
- 63.「英語圏文化研究: 英語の構造と機能の史的発達に着目して」単著 2015年3月『外国文学』64号, pp. 1-11.
64. “Grammatical Investigation into English Sentential Noun Phrases: A Sketch of Their Appropriate Translation into Japanese.” 単著(英文) 2015年12月 *Otsuka Forum* No. 33, Liber Press, pp. 10-18.
- 65.「国際理解における言語活動の諸相: 母語、第二言語、国際語としての英語の視点から」単著 2016年3月『多文化公共圏センター年報』第8号, 宇都宮大学国際学部, pp. 120-129.
66. 河野継代著『英語の関係節』単著 2016年12月『英文學研究』93巻, pp. 184-189. [書評]
- 67.「英語の文的名詞句の意味機能のタイプについて」単著 2016年12月『大塚フォーラム』34号, 大塚英語教育研究会, リーベル出版, pp. 63-69.
- 68.「英語における文的名詞句の出現に関する一考察」単著 2016年12月『外国文学』64号, pp. 3-10.
- 69.「英語名詞句の機能分析: 英文エッセイに使用される派生名詞化形等に焦点をあてて」単著 2017年12月『大塚フォーラム』35号, 大塚英語教育研究会, リーベル出版, pp. 37-44.
- 70.「『命題内容』を表す英語名詞句の存在理由: 統語的・意味的・機能的な視点から」単著 2018年12月『大塚フォーラム』36号, 大塚英語教育研究会, リーベル出版, pp. 43-52.
71. “Multicultural Societies and Linguistic Research.” 単著(英文) 2019年3月『多文化公共圏センター年報』第11号, 宇都宮大学国際学部, pp. 57-59.
- 72.「比較の視点でみる日本語: アジアの諸言語や英語との相違点と共通点」単著 2019年9月『宇都宮大学国際学部研究論集』第48号, pp. 31-38.

73. 「文脈依存度と日英語主語の比較：英語から自然な日本語への翻訳に焦点をあてて」単著 2021年2月『宇都宮大学国際学部研究論集』第51号, pp. 35-42.
74. “Some Notes on Nominalization in Japanese: A Typological Perspective.” 単著 (英文) 2021年9月『宇都宮大学国際学部研究論集』第52号, pp. 39-44.
75. 「英語における名詞句の多元的分析と節的な名詞句表現：Keizer (2020) "Noun Phrases" を出発点として」単著 2021年12月『大塚フォーラム』39号, 大塚英語教育研究会, リーベル出版, pp. 13-24.
76. 「外国人学生の日本語習得と母語からの言語的距離：『NANDS10年史』国際学部外国人学生体験レポートを起点に」単著 2022年3月『多文化公共圏センター年報』第14号, 宇都宮大学国際学部, pp. 185-188. [研究ノート]
77. 「学術的な英文作成のための教科書を用いた総合的英語指導の試み：Longman Academic Writing Series 4を題材に」単著 2022年12月『大塚フォーラム』40号, 大塚英語教育研究会, リーベル出版, pp. 51-60.

翻訳書

1. 『現代英文法教本』（「大塚英語教育研究会」抄訳書）共著 1986年2月 リーベル出版, 272 pp. 原著 Celce-Murcia and Larsen-Freeman (1983) *The Grammar Book*. Newbury House. 佐々木一隆は24章(論理的連結語句)と25章(条件文)の原稿を作成
2. 『世界ホームレス百科事典』共著(分担監訳者)(駒井洋監修、田巻松雄監訳者代表) 明石書店, 798 pp. 原著 David Levinson (2004) *Encyclopedia of Homelessness*. Berkshire Publishing Group Ltd.

口頭発表：研究会、学会、招待講演など

1. 「*Oxford Dictionary of Current Idiomatic English, Volume II*について」単独 1983年12月 大塚英語教育研究会(筑波大学学校教育部)
2. “Active-Passives: A Dynamic View.” 単独 1985年3月 東京英語学談話会(上智大学)
3. “Notes on Apparent Appositive NPs.” 単独 1987年5月 東京英語学談話会(上智大学)
4. 「*A Comprehensive Grammar of the English Language* 18章について」単独 1988年6月 大塚英語教育研究会(筑波大学学校教育部)
5. “A Note on the Pseudo-Cleft-Like Construction.” 単独 1988年10月 東京英語学談話会(上智大学)
6. “On Appositive Noun Phrases and Nonrestrictive Relative Clauses: A Case in Which Their “Antecedents” are S-type.” 単独 1989年12月 東京英語学談話会(上智大学)
7. 「先行文を受ける同格名詞句に関する理論的問題について」単独 1990年11月 日本英語学会第8回大会(立教大学)
8. “Disambiguation and Split Infinitive.” 単独 1991年3月 東京英語学談話会(上智大学)
9. “On the Sentential Character of Noun Phrase: A Dynamic View.” 単独 1992年12月 東京英語学談話会(上智大学)
10. “On the Internal Structure and Distribution of Sentential Noun Phrases in English: A Dynamic View.” 単独 1994年9月 東京英語学談話会(上智大学)
11. “Some Notes on Derived Nominals: A Comparative and Dynamic Study of English and Japanese.” 単独 1996年4月 東京英語学談話会(上智大学)
12. “German Prenominal Modifiers and English Postnominal Modifiers: A Comparative Study of the Internal Structure of Noun Phrases.” 単独 1998年9月 東京英語学談話会(上智大学)
13. “Linguistic Theory and Language Acquisition: A Report on My Research at UCLA Linguistics Department.” 単独 2001年12月 東京英語学談話会(上智大学)
14. 「日英語の名詞句比較：内部構造と分布の観点から」単独 2002年4月 IRICE (Institute for Research in

- International Communicative English) 第113回 月例研究会講演 (国際コミュニケーション英語研究所, 東京神田)
15. 「名詞句における主要部の修飾」 単独 2002年6月 大塚英語教育研究会講演 (筑波大学学校教育部)
 16. “Comments on the Whole of the Presentations.” 単独 2005年3月 Online Conference Between Taiwan National Normal University and Utsunomiya University. (国立台湾師範大学及び宇都宮大学)
 17. 「*A Semantic Approach to English Grammar* 7章と8章について」 単独 2007年9月 大塚英語教育研究会講演 (筑波大学学校教育部)
 18. 「小学校における英語活動と異文化理解」 単独 2009年8月 宇小教研学校図書館部会研修会講演 (宇都宮市富屋地区市民センター)
 19. 「Chomsky (1965) *Aspects of the Theory of Syntax*, Cambridge, Massachusetts: The MIT Press, Chapter 4, Sections 2.2-2.3について」 [同書全体の評価にも触れて] 2012年12月 大塚英語教育研究会 (筑波大学東京キャンパス文京校舎)
 20. 「Wierzbicka (2006) *English: Meaning and Culture*, Oxford University Press, Chapter 4について」 単独 2013年9月 大塚英語教育研究会 (筑波大学東京キャンパス文京校舎)
 21. 「名詞の前位修飾について」 単独 2013年10月 英語語法文法学会 第21回大会シンポジウム (九州大学)
 22. 「国際理解における言語活動の諸相: 母語、第二言語、国際語としての英語の視点から」 単独 2014年11月 (栃木県高等学校国際理解教育研究会招待講演)
 23. “Translation of English Sentential Noun Phrases into Japanese: From a Grammatical View.” 単独 (英語) 2015年3月 Paper read at a series of lectures held at Palacky University on March 9, 2015. (協定校のチェコ共和国パラツキー大学での招待講演)
 24. 「比較の視点でみる日本語: アジアの諸言語や英語との相違点と共通点」 単独 2017年3月 (中国浙江財経大学講演)
 25. 「第14回英語語法文法セミナー」 単独 (講師の一人) 2018年8月 (関西学院大学梅田キャンパス)
 26. 「多文化共生社会における少数派言語」 単独 2018年12月 茨城大学・宇都宮大学・福島大学研究コンソーシアム講演 (茨城大学)
 27. 「ことばから見る多文化共生」 単独 2019年2月 宇都宮ロータリークラブ例会講演 (東武ホテルグランデ)
 28. 「国際学部の現況と展望: 多様な学びの場の実現に向けて大学は何か出来るか」 共同 2019年6月 宇都宮大学・福島大学・茨城大学研究コンソーシアム講演 (宇都宮大学)

所属学会

- | | |
|---------------|---|
| 昭和58年11月～現在 | 日本英語学会会員 (平成27年4月～令和5年3月 評議員) |
| 昭和58年4月～現在 | 日本英文学会会員 |
| 昭和56年4月～平成14年 | 東京英語学談話会会員 (平成5年10月～10年3月 幹事) |
| 昭和58年12月～現在 | 大塚英語教育研究会会員 |
| 昭和58年4月～現在 | Linguistic Society of America (アメリカ言語学会) 会員 |
| 平成24年10月～現在 | 英語語法文法学会会員 |

社会における活動等

- | | |
|-----------------|--------------|
| 平成11年8月～平成12年7月 | 下野新聞紙面審査員 |
| 平成19年8月～平成24年3月 | 宇都宮市図書館協議会会長 |
| 平成25年7月～現在 | 宇都宮市社会教育委員 |